



かな みね じんじや み こし と ぎよ
金峰神社と神輿渡御

金峰神社は、千三百年代権現山に山ずみ神が祀(まつ)られており、蔵王権現と併せて崇(あが)められていた峰山最古の神社です。

昭和二年の丹後大震災により、社殿が倒壊し、昭和五年に現在の場所に移され八十数年が過ぎようとしています。

昭和五十一年に、遷座五十年を記念し、神輿巡行が再開され、以後毎年、五月五日の例祭には地域の有志たちで「おみこさん」を担いで街中を練り歩きます。

この日は威勢のよい声が飛び交い、とても賑やかになります。



峰山町の北寄りに位置する1区



峰山町一区は、峰山地区の北側に位置する元気がつばいな区です。

この区は峰山町吉原、峰山町不断、峰山町四軒、峰山町赤坂からなる四つの地区で構成されています。

古くから城下町として栄え、権現山、京極家陣屋跡、金峰神社、峰山小学校と「歴史と自然」に抱かれた風光明媚な住宅地です。

ふるさと
わがまち
わが地域

人口 297人
 世帯数 129世帯
 (平成二十四年四月一日現在)

峰山町第1区



北には網野町・日本海が見わたせます



吉原山城・京極
陣屋跡と権現山



当時の面影はありませんが、建物跡を示す碑が建てられています

京丹後市のほぼ中心に位置する峰山町はその昔、京極(きょうごく)藩一万三千石の城下町で早くからちりめんの生産を始め、商業地として栄えたところであったそうです。

吉原山城(やまじろ)は、標高180mの吉原山山頂に築いた山城です。

一色(いつしき)、細川、京極三氏の城地として約五百年の間、丹後の政治・軍略の中心として治めてきました。

嘉慶二年(一三八八年)守護一色詮範(あきのり)は、吉原山(吉原山)を築きました。

初めに山城を築きました。織田信長の時代に城主は細川氏に代わり、徳川時代には京極氏に代わりました。

京極家初代高道氏は元和十

年(一六二四年)お国入りをして城下町を作り、峯山町と改称しました。この頃になると城砦(じょうさい)の必要性もなくなり、吉原山城を廃して藩主の居館(御陣屋)・御蔵・侍屋敷等を作りました。

吉原山は、京極氏が山頂に蔵王権現を祀っていたことから、「権現山」と呼ばれるようになり現在に至っています。

この山は、これらの歴史的背景の中で生まれ、京都府の歴史的自然環境保全地域にも指定され、自然が保持されてきました。

春は桜、秋は紅葉と四季折々の美しい自然を残す素晴らしい環境の権現山です。

これをご覧の皆さんも是非お弁当を持って、お気軽にハイキングに来てください。

陶芸家を目指して?
趣味の陶芸教室開催



素晴らしい作品が揃いました

17年ほど前から、区の文化行事として、毎年陶芸愛好家が集まって陶芸教室を開いています。

はじめの頃は慣れない手つきで、思うような作品ができませんでした。最近は大作や力作、そして一味違う趣のある、世界に一つだけの「作品」ができるようになりました。

秋の「西地区文化祭典」への出品も楽しみの一つになっています。

地区のシンボル **峰山小学校**



当地区のシンボルとして、歴史ある峰山小学校を欠かすことはできません。

峰山小学校は、明治2年、藩学敬業堂を敬業館と改称、不断町小学校が開設されました。

昭和2年には丹後大震災のため壊滅(殉職教員8名、園児・児童・生徒204名死亡)しました。そして同年に現在地に新校舎が落成され、80有余年が経過しています。

この建物は震災記念館、旧京都銀行と同一の設計士によって建造され、その重厚な雰囲気は町のシンボルとしての存在感に溢れています。

現在は耐震強度の問題で使用されていませんが、平成23年度までは二階の講堂で多くの新入生を迎え、卒業生を送り出してきました。

この趣のある校舎は、まちの文化財として残しておきたい建物のひとつです。



歴史ある峰山小学校の校舎



二階にある広々とした講堂